



2022年11月

- [今回のリリースでの新機能 \(1 ページ\)](#)
- [このリリースでの変更点 \(1 ページ\)](#)
- [不具合 \(2 ページ\)](#)

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに次の機能が導入されました。

データエクスポート機能で新しい宛先がサポートされるようになりました。SFTP に加えて、次の宛先へのデータエクスポートを作成できます。


- Amazon S3
- Microsoft Azure Blob Storage
- Google Cloud Storage
- Box

このリリースでの変更点

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

Spaces コネクタ 3.0 : 有線サポート

Cisco Spaces : コネクタ 3.0 が、メニュー () > [Setup] > [Wired Network] セクションで利用できるようになりました。[Wired Network] で 2.x と 3.0 の両方のコネクタを作成できます。

サービスの関連付け、インスタンスの追跡、メトリックの可視化などのコネクタ 3.0 機能を [Wired Network] セクションで利用できます。

Cisco Spaces ダッシュボード GUI の強化

Cisco Spaces のブランディングの変更に応じて次のセクションが機能強化されています。

- ログインセクション
- ホームページ：トップバナー（Cisco Spaces ロゴ）

ロケーション階層

モデル名が **CW** で始まるアクセスポイントを **ロケーション階層** に自動インポートできるようになりました（Cisco Meraki によって新たに導入されました）。このリリースより前のリリースでは、**MR** および **MX** アクセスポイントモデルのみがサポートされていました。

Cisco Spaces パートナーダッシュボード

Cisco Spaces パートナーダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

シンガポール地域のサポート

Cisco Spaces パートナーダッシュボードは、シンガポール地域をサポートするように拡張されました。パートナーは、シンガポール地域向けのアプリを作成して公開できるようになりました。

パートナーダッシュボード GUI の強化

Cisco Spaces のブランディングの変更に応じて次のセクションが機能強化されています。

- ログインセクション
- ホームページ：トップバナー（Cisco Spaces ロゴ）

不具合

不具合では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各不具合には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は **CSCxxNNNNN** というパターンで、*x* は任意の文字（**a**～**z**）、*N* は任意の数字（**0**～**9**）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- 説明：不具合が発生したときに観察された内容の説明。

Cisco Spaces のこのリリースでは未解決の不具合はありません。

解決済みの不具合

ここでは、Cisco Spaces のこのリリースで解決されたバグを示します。

表 1: *Cisco Spaces* 解決済みの不具合

不具合の識別子	不具合の説明
CSCwd09396	影響分析でページがいつまでもロード中になる

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。